

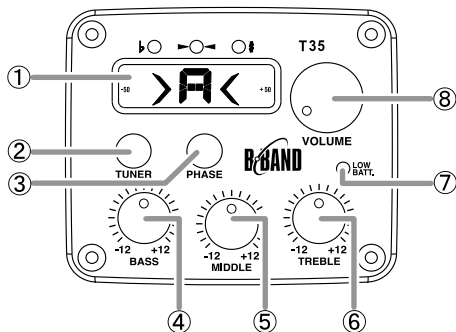
# B-BAND “T35”

## 取扱説明書

Acoustic Guitar PreAmp Systems

アコースティックギター プリアンプシステム

### ■各部の名称と働き



#### ① チューナー表示液晶画面

チューニングモード(チューナーON)にした際、チューニングの状況を表示します。

※下記、「チューナーの使い方」をご参照ください。

#### ② TUNER (チューナー)

チューナーのON/OFFスイッチ

#### ③ PHASE (フェーズ)

入力信号の位相を反転させます。

ハウリング音が発生したときに、このボタンを押すとハウリング音を減少させることができます。(ハウリング音を完全に除去できるものではありません)

#### ④～⑥ 3バンドイコライザー

各音域の強弱を調節します。つまみが真上の位置(12時の位置)がこのプリアンプのもつ基本的な音質です。この状態から右にまわすとブースト(増幅)され、左にまわすとカット(削減)されます。

④ BASS : 低音域部分の調節

⑤ MIDDLE : 中音域部分の調節

⑥ TREBLE : 高音域部分の調節

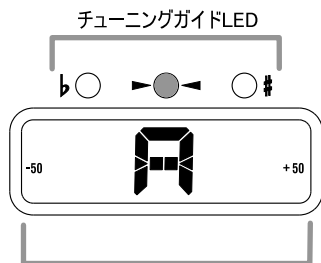
#### ⑦ LOW BATT. (ローバッテリー)

電池が消耗したときに点灯し、交換時期をお知らせします。(残量ゼロ、または電池ボックスに電池が入っていない場合は点灯しません)

#### ⑧ VOLUME (ボリューム)

アンプへ出力される音量を調節します。

### ■チューナーの使い方



チューナー表示液晶画面

※上記は、Aの音に合ったときの例

■チューナーON/OFFスイッチを押し、チューニングモード(チューナーON)にします。

チューニングモード起動時は、自動的にアウトプット音がミュート(アンプからは音が出ない状態)になります。チューナーをOFFにすればミュートは解除され音が出るようになります。(チューニングモードは約20分間でオートオフとなります)

■チューニングガイドLED

入力音の表示が合わせたい音階から高い場合には、右側 # が点灯(赤色)し、低い場合には左側の b が点灯(赤色)します。その弦のチューニングが合つと中央が点灯(緑色)します。

#### ◆オートチューナーの特性

チューニング時、チューナー表示液晶画面には、入力音に一番近い音名が自動的に表示されます。

<レギュラーチューニングの場合>

太い弦から、6=E、5=A、4=D、3=G、2=B、1=E になるように調節してください。

### ■主な仕様

イコライザーレベル : BASS(ベース) : ±12 dB @ 70 Hz  
MIDDLE(ミドル) : ±12 dB @ 1 kHz  
TREBLE(トレブル) : ±12 dB @ 2.5 kHz

電源 : 006P 9V角型乾電池 (電池ボックスはアウトプットジャック横に装備)